

公式観光ガイド 2026

シャモン＝シュル＝ロワール領地

シャモン＝シュル＝ロワール · ～から 21€

https://domaine-chaumont.visit-tickets.com/ja/ · 優先入場チケット & 公式料金



歴史 & エクスペリエンス

起源と歴史

城の起源と変遷

GOOGLE 4.5 ★★★★☆ 6 640 レビュー

TIQETS 4.6 ★★★★★ 1 087 レビュー

シャモン＝シュル＝ロワール領地は、**15**世紀末に建設された戦略的要塞としてその歴史を刻み始めました。当初、ブロワとアンジューの国境を見張るための防衛的なゴシック様式の城でしたが、時代とともにその役割を変えていきます。ルネサンス期に入ると、この堅固な要塞は豪華な王宮へと変貌し、攻撃的な軍事的外観から洗練された居住空間へと進化しました。石垣の間には芸術と快適さが息吹き込まれ、フランス貴族の権威と美意識が結集した場所となりました。

しかし、この城の真のドラマは政治的対決の中にあります。**1550**年、カトリーヌ・ド・メディシスは激しいライバルであるディアヌ・ド・プアティエとの取引の一環として、この領地を手に入れました。シェノンソ城との交換というこの驚くべき取引は、当時のフランス宮廷における2人の強力な女性間の緊張関係を象徴しています。城の壁は静かにこれらの秘密を語り、歴史的な重みを感じさせる空間となっています。

近代に入り、この遺産は新たな命を得ます。**1992**年に設立された国際庭園フェスティバルは、世界初の同種のイベントとして注目を集めました。毎年、公園は生きた実験室に変身し、国際的な造園家たちが一時的な庭園を作り出します。これにより、シャモンは一時的ながらランドスケープデザインの世界的首都となり、伝統と革新が交差する独特の文化拠点として確立されました。

最近では、Centre-Val de Loire地域圏が**2007**年にこの領地を取得し、野心的な改修と一般公開の拡大を実現しました。この取得により、城は単なる歴史的建造物から、現代美術愛好家や植物学ファンも引きつける総合的な芸術センターへと再定義されました。三重のアイデンティティー――遺産、芸術、庭園――を持つ唯一のロワールの城として、その地位をさらに固めています。

体験

入口を通り抜けると、まず訪れる者の心を打つのは、丘の上から広がる壮大な景色です。ロワール川が黄金色に輝き、リジェーヌ地方の風景が一望できるこのパノラマビューは、言葉にならない感動をもたらします。夕暮れ時の光が水面に反射する瞬間は特に美しく、写真家にとって絶好の撮影スポットとなっています。空気の澄んだ中で深呼吸すると、歴史の重厚さと自然の安らぎが同時に感じられます。

城内への足を踏み入れると、ゴシック様式の厳格さとルネサンスの優雅さが調和した空間が広がります。建築の詳細に注目しながらゆっくりと歩を進めると、石畳の床や装飾的な天井が当時の生活感を伝えてきます。庭園では季節ごとに異なる色彩と香りが漂い、訪れるたびに新しい発見があります。静寂の中で文化的な雰囲気に包まれ、日常の喧騒を忘れさせてくれる特別な時間となります。

訪問の準備

実用的な情報

住所
ロワレ県･地下鉄：未接続。ブロワまたはオルレアンからD953号線経由でアクセス可能。施設内に無料駐車場あり。

営業時間
季節や学校休暇により変動します。国際ガーデンフェスティバルは4月から11月にかけて開催されます。訪問前に正確な日程をご確認ください。

料金
年齢に応じて子供は無料（バリエーションを確認してください）。{promo}。

所要時間
ドメインの城、馬小屋、そして恒久的および一時的な庭園をゆっくりと散策するには2時間30分から3時間30分を計画してください。

写真撮影
個人使用のために、公園全体および庭園での写真撮影は自由かつ許可されています。城内ではフラッシュ禁止。

対象客層
ロマンチックを好むカップルや好奇心旺盛な家族に理想的です。ティーンエイジャーは現代芸術的な要素を気に入るでしょう。

LOCALISATION

Où se trouve シャモン＝シュル＝ロワール領地 ?



📍 Chaumont-sur-Loire, France — 41150 シャモン＝シュル＝ロワール

🌐 47°28.593′ N, 1°10.996′ E

組織

訪問の構成

レベル0（地上階）

城の主要な展示室があり、歴史的な文脈と建築の特徴を紹介しています。ゴシック様式の要素とルネサンス期の改装跡を見ることができます。ガイド付きツアーの出発点としても機能し、豊富な歴史的背景を理解するのに役立ちます。

レベル1（庭園エリア）

恒久的および一時的な庭園が広がり、季節ごとの変化を楽しめます。国際ガーデンフェスティバル期間中は、世界的な造園家による創造的な作品が展示されます。家族連れにもアクセスしやすいインタラクティブなエリアが多く設けられています。

レベル2（展望台）

丘の頂上にある展望台からは、ロワール川とリジェーヌ地方の素晴らしい景色を一望できます。夕日の金色の反射を捉えるために好まれるフォトジェニックなスポットです。静かな雰囲気の中で、自然と建築の調和を堪能しましょう。

アクセシビリティ

♿ 車椅子アクセス

エレベーターと公園内の安定した通路により、車椅子での城へのアクセスが容易になります。

👨‍👩‍👧 ファミリー向け

子供向けの広々とした安全なスペースがあり、ピクニックや年齢に応じたアクティビティが可能です。

🎧 オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



必見スポット

選択

見逃せないポイント

01 公園全体

国際庭園フェスティバル

毎年変わる一時的な展示が提案され、**32**ヘクタールの公園全体がアートギャラリーのように変身します。国際的な造園家たちの創造性が凝縮された庭園は、訪れるたびに新鮮な感動を与えます。

> 💡 このフェスティバルは**1992**年に設立され、世界初の同種イベントとして知られています。

02 城内

カトリーヌ・ド・メディシスの寝室

歴史上重要な人物が使用した部屋であり、**1550**年の取引に関連する痕跡が残されています。装飾的な詳細から当時の生活感を読み取ることができます。

> 💡 ディアヌ・ド・プアティエとの競争関係がこの空間にも反映されています。

03 展望台

ロワール川の眺望

支配的な丘から見えるロワール川の景色は息を呑むほど美しく、夕日の時間帯には特に幻想的な雰囲気を醸し出します。写真家にとって最高の撮影条件を提供します。

> 💡 かつて防衛のために利用された戦略的位置が、今では芸術的なインスピレーション源となっています。

04 城壁

ゴシック様式の防御構造

15世紀末に建設された防衛的なゴシック様式の要素が残り、当時の軍事的重要性を示しています。石垣の質感や設計の精巧さから、技術の高さを伺い知ることができます。

> 💡 この要塞はブロワとアンジューの国境を守る役割を果たしていました。

05 内部廊下

ルネサンス期の改装跡

要塞から王宮への変遷過程を示す改装跡があり、ルネサンスの快適さと美学が取り入れられています。建築スタイルの変化を通じて時代の移り変わりを感じ取れます。

> 💡 攻撃的な外観から優雅な居住空間への転換は、社会的な変化を反映しています。

06 庭園内

現代芸術インスタレーション

フェスティバル中に設置される現代芸術的な要素は、ティーンエイジャーを中心に若い世代を引きつけます。革新的な植物学と組み合わせられた作品は、視覚的に刺激的です。

> 💡 一部の作品は特定の期間のみ展示されるため、時期を選んで訪れる必要があります。

07 近隣

サン＝マルタン教会

登録されているゴシック様式の旧 collegiate church で、城を望む堂々とした建築を提供します。絶対的な静寂の中で、歴史的な建築物を鑑賞するのに理想的な場所です。

> 💡 教会の内部には、中世の宗教芸術の痕跡が残っています。

08 公園内

グラン・ショームレストラン

地元の食材を使用した洗練された料理を提供し、庭園を眺めながら食事を楽しむことができます。ガストロノミーと自然の調和が特徴的です。

> 💡 週末には混雑がピークに達するため、必ず事前に予約してください。

アドバイス

実践的なアドバイス

TIMING

開門30分前に着き、祝日にはメイン入口に近い駐車スペースを確保しましょう。早朝または午後の終わりが光の面で理想的です。

BILLET

オンラインでチケットを購入し、待ち時間を回避しましょう。ピークシーズンには物理的な窓口の行列が特に長くなります。

PARCOURS

城と公園の完全な見学には徒歩で約2時間かかります。通路は様々なので、ペースを調整して建築の詳細を楽しみましょう。

PHOTO

硬い影なしで城を撮影するには、早朝または午後の終わりが最適です。広角レンズを使用して32ヘクタールの公園全体を捉えましょう。

PAUSE

Le Grand Chaumeレストランで地元の食材を使用した洗練された料理を楽しみましょう。席はすぐに埋まるため、事前予約が必要です。

ENFANTS

子供向けの広々とした安全なスペースがあり、ピクニックや年齢に応じたアクティビティが可能です。壊れやすい芸術的な設備には注意しましょう。

AUDIOGUIDE

フランス語、英語、スペイン語のオーディオガイドを利用し、自分のペースで歴史や庭園のコンセプトを発見しましょう。

CONFORT

通路の一部は石畳や土間のため、歩きやすい靴を履きましょう。エレベーターと安定した通路により車椅子でのアクセスも可能です。

よくある質問

よくある質問

事前に予約する必要があるのでしょうか？

はい、国際庭園フェスティバル（4月〜11月）および週末の間は、事前予約を強く推奨します。繁忙期には窓口がすぐに混雑することがあります。オンラインで予約すれば入場が保証され、待ち時間を避けることができます。

キャンセル可能なのはいつまでですか？

購入したチケットの条件に応じて、通常は訪問日の24時間または48時間前まで無料でキャンセルできます。購入時に特定の条項をよく確認してください。QRコードを受け取った後、キャンセル手数料が発生する場合があります。

現在プロモーションはありますか？

団体、若年層のヨーロッパ人、年間会員向けに割引料金があることがよくあります。季節限定のオファーについては公式ページをご確認ください。城と庭園の組み合わせチケットは、コストパフォーマンスが良いことがあります。

チケットは一日中有効ですか？

はい、一度入場すれば、門が閉まるまで敷地内で一日中滞在できます。特定のパスを購入すれば翌日も再来場できますが、そのオプションを確認してください。

見学にはどのくらい時間がかかりますか？

城、馬屋、庭園を含む完全な見学には、約2時間30分から3時間30分を目安としてください。現地での昼食やピクニック休憩を希望する場合は、半日全体を確保してください。ペースはアートの興味によって異なります。

ご存知ですか？

エピソード＆トリビア

王族の対決

1550年、カトリーヌ・ド・メディシスはディアヌ・ド・プアティエと取引し、シェノンソ城と交換しました。この取引は、当時のフランス宮廷の2人の強力な女性間の政治的および個人的な緊張関係を物語っています。

防衛的な起源

15世紀末に建設されたこの城は、防衛的なゴシック様式とルネサンスの快適さを兼ね備えています。当初は戦略的要塞でしたが、後に豪華な王宮へと変貌しました。

パイオニア的なフェスティバル

1992年に設立された国際庭園フェスティバルは、世界初の同種のイベントです。毎年公園を生きた実験室に変え、国際的な造園家たちが一時的な庭園を作り出します。

三重のアイデンティティ

この城域は、ロワール地方の城の中で唯一の三重のアイデンティティ（遺産、芸術、庭園）によって際立っています。この珍しい組み合わせは、歴史家だけでなく現代美術愛好家や革新的な植物学ファンも引きつけます。

博物館周辺

城域の周辺には、訪れる価値のある魅力的なスポットが点在しています。サン＝マルタン教会は、登録されているゴシック様式の旧 collegiate church で、堂々とした建築と絶対的な静寂を提供します。城からの眺めを楽しみながら、歴史的な建築物を鑑賞するのに最適な場所です。また、ロワール川橋を渡って対岸の河岸に行けば、ブロワ側からドメインを見下ろすユニークなパノラマビューを楽しむことができます。 食事を求める方には、公園内に直接位置するグラン・ショームレストランがおすすめです。地元の食材を使用した洗練された料理を提供しており、庭園を眺めながらランチを楽しむのに最適です。席はすぐに埋まるため、事前予約が必須です。さらに、近隣のソロニュ公園では自然の日帰り旅行を延長でき、ハイキングコースで森林の美しさを感じることができます。

シャモン＝シュル＝ロワール領地での体験は、単なる観光以上の深い感動を残します。歴史と芸術の融合が作り出す独特の雰囲気は、心に残る記憶として長く続きます。ぜひ一度、この魔法のような場所で時間を過ごし、自分だけの物語を見つけましょう。